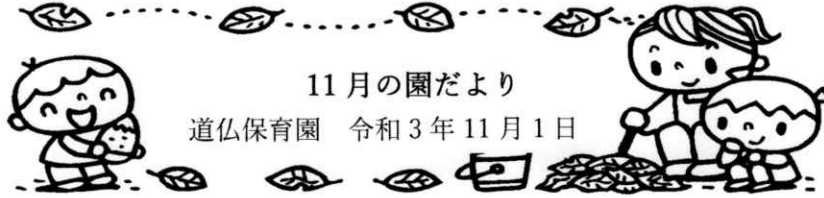


保育主題

「実りの秋」



11月の園だより

道仏保育園 令和3年11月1日

指導のことば

「ありがとう」

月のねらい

- ・身近で働いている人に関心を持ち、感謝の気持ちを抱く。
- ・寒さに負けず、戸外で遊具遊びやかけっこなど、全身を使った遊びを楽しむ。

月のやくそく

- ・お手伝いをしましょう。
- ・進んで片付けましょう。

10月2日の運動会には、台風接近で天候が危ぶまれたものの、開会式が始まる頃には爽やかな風が吹く中、全日程を無事終えることができました。保護者が参加する種目では、玉入れの玉がほとんどかごに入ったり、ピンポン玉を上手にキャッチしたりと会場を沸かせてくださいました。子どもたちも、日頃の練習の成果を発揮し、堂々とした姿を見せてくれました。運動会が終わってから成長を感じます。本当に、ありがとうございました。運動会に先立ち、園庭の樹木の剪定をしていただいたところ、ジャングルジム近くに植えられていたポプラが空洞化していて、いつ倒れてもおかしくないとの事でした。もしポプラが倒れてきて子どもたちが怪我をしましては大変と切ってもらうことにしました。

ところが、このポプラ、道仏保育園にとっては、とても意味ある樹なのです。卒園文集の題名はズバリ『ぼぷら』ですし、創立50周年を記念して作られた園歌の中にも出てきます。調べてみると、昭和47年に「子どもたちが、まっすぐに上へ上へと伸びていくポプラのように育ててほしい」という願いから十数本植えられたそうです。道路の拡張等の理由で少しずつ切られていき、実は、残された最後の一本だったのです。

9月25日、根元に御神酒をかけ、お供え物をしてしっかりと祈ってから伐採はスタートしました。長く勤めている保育士が『体の一部が切られたような気がして胸が痛い』とおっしゃっていましたが、まさにその通り。それまでであった樹がなくなるとぽっかりと穴が空いてしまったように淋しく空が広がります。それでも、切ってみたら直径50cmほどの樹の生きている所は直径10cmだけで他は全部腐っていたので「もし倒れてきたら」と思うとぞっとした次第です。象徴としてのポプラの樹は無くなってしまいましたが、目に見えない思いがどこまでも空高く伸びていくのではないかと感じています。

11月の行事予定

- 10/30 (土) 町民文化祭開会セレモニー
バルーンリリース 8:50~
(道仏交流センター) 3歳以上児組参加
- 3日 (水 祝) 文化の日
- 5日 (金) さつま芋・大根掘り
8:30~ (さくら・うめ組)
- 【持ち物】 汚れてもいい服装・長靴・軍手
着替え
- 10日 (水) 11月生誕会
- 15日 (月) 七五三の集い
- 23日 (火 祝) 勤労感謝の日
- 12/1 (水) 成道会総練習 9:30~
- ※衣装等の準備物については各組担任がお知らせします。



- サッカー教室 2日 16日
- 体操教室 13日 27日
- 英語教室 9日



赤い羽根共同募金・子ども赤十字募金について

毎年10月1日から12月31日まで行われています。集まったお金は、高齢者・障害のある人や困っている人たちのために使われます。

今年も父母の会費から頂いて募金しました。ありがとうございました。